

## 認知症の人にやさしいまちづくりの推進について

### 1. 条例制定の趣旨（（仮称）認知症の人にやさしいまちづくり条例）

高齢化が急速に進む中、今後一層の認知症高齢者の増加が見込まれ、誰もが認知症になりえる認識を持つことが求められる。

G7保健大臣会合（2016年9月）の「神戸宣言」を踏まえながら、市独自の認知症対策の新たな試み（認知症の人の起こした事故に関する救済制度）や医療産業都市の推進との連携などによって、認知症になっても住み慣れた地域で安心して過ごすことができる「認知症の人にやさしいまちづくり」を推進していくため、条例の制定を検討している。

参考：神戸市の状況（平成29年3月末現在）

高齢者人口	41.8万人	認知症高齢者 日常生活自立度Ⅱ以上	46,509人
-------	--------	----------------------	---------

### 2. 検討状況

平成29年3月より「認知症の人にやさしいまちづくりに関する有識者会議」を設置し、議論を行っている。また、有識者会議の下に「事故救済制度に関する専門部会」と「認知症初期集中支援事業運営関連部会」を設置し、より専門的な議論を行っている。

事故救済制度については、認知症の人が起こした事故に関する救済制度の創設を目指しており、「認知症と診断された方」を対象とすることなど、検討しているところである。（診断をどの機関で行うか、認知症検診制度の導入など検討中）

また、「認知症の人の運転免許返納促進」についても検討しているところである。

### 3. 今後のスケジュール

- ・11月18日 有識者会議において条例案を中心に議論予定
- ・12月中下旬～ 条例案のパブリックコメントを実施予定
- ・今年度中の議会上程を目指す

### 4. 添付資料

- ・有識者会議・有識者会議部会 委員名簿
- ・（仮称）認知症の人にやさしいまちづくり条例の論点整理

認知症の人にやさしいまちづくりに関する有識者会議委員名簿

(50音順)

敬称略

岩佐	光一郎	神戸市自治会連絡協議会会長	
置塩	隆	神戸市医師会会長	
河西	美保	認知症の人と家族の会兵庫県支部代表	
《座長》	北	徹	神戸市医療監
窪田	充見	神戸大学大学院法学研究科教授	
幸寺	覚	兵庫県弁護士会弁護士	
古和	久朋	神戸大学大学院保健学研究科教授	
桜間	裕章	神戸新聞社常勤監査役	
玉田	はる代	神戸市婦人団体協議会会長	
前田	潔	神戸市認知症対策監	
松井	年孝	神戸市老人福祉施設連盟理事長	
松原	一郎	関西大学社会学部教授	
祐村	明	民生委員児童委員協議会理事長	
吉川	敦	兵庫県精神科病院協会医師	

事故救済制度に関する専門部会委員名簿

(50音順)

敬称略

	河西 美保	認知症の人と家族の会兵庫支部代表
《部会長》	窪田 充見	神戸大学大学院法学研究科教授
	古和 久朋	神戸大学大学院保健学研究科教授
	手嶋 豊	神戸大学大学院法学研究科教授
	名倉 大貴	兵庫県弁護士会弁護士
	前田 潔	神戸市認知症対策監
	水上 然	神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授

認知症初期集中支援事業運営関連部会委員名簿

(50音順)

敬称略

	池田 学	大阪大学大学院医学系研究科教授
	伊藤 米美	認定 NPO 法人認知症予防ネット神戸理事長
	奥西 栄介	福井県立大学看護福祉学部教授
	川島 恵美	関西学院大学人間福祉学部准教授
	河西 美保	認知症の人と家族の会兵庫県支部代表
	久次米 健市	神戸市医師会監事
《部会長》	古和 久朋	神戸大学大学院保健学研究科教授
	種村 留美	神戸大学大学院保健学研究科教授
	坪井 桂子	神戸市看護大学看護学部教授
	山内 賢治	兵庫県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会委員長